

## 第 22 回秋の集い 開催報告

校友と現役学生との交流の場である「機械系同窓会 第 22 回秋の集い」が令和 5 年 11 月 11 日に開催されました。学生 17 名と校友・教員 17 名に参加いただき、大いに盛り上がりました。例年に引き続き、機械系学科の学生が多く所属しているものづくり系学生プロジェクトから、活動内容を紹介いただきました。

今回登壇頂いたプロジェクトは、発表順に以下です。

- Birdman Project Wendy (鳥人間) 鳥人間コンテストへの参加が目的
- KASA (モデルロケットプロジェクト) ハイブリッドロケット;伊豆大島共同打上実験への参加が目的
- KRP (工学院大学ロボットプロジェクト) NHK 学生ロボコンへの参加が目的
- 工学院大学ソーラーチーム 豪州縦断・ブリヂストンワールドソーラーチャレンジへの参加が目的
- 工学院レーシングチーム 学生フォーミュラ大会への参加が目的

### B.P. Wendy

鳥人間コンテスト出場のために年間を通じた機体製作スケジュールと、製作過程に関して説明頂きました。現在は再来年の大会出場に向けて、新技術であるステアバイワイヤの導入を目指していることが紹介されました。特に鳥人間コンテストではパイロットの体力を上げることが求められるため、トレーニングの方法や、パイロットがどのようなことをしているかという点に関心が集まり、それに関する質問も集まりました。



### モデルロケットプロジェクト

燃料の ABS 樹脂と酸化剤である亜酸化窒素を組み合わせたハイブリッドロケットを作っており、同様の機体を集めた伊豆大島、秋田県能代での打上実験に参加することが目的のプロジェクトです。打上実験で打ち上げはできなかったものの、燃焼実験の様子の動画を上映いただき、ロケット製作における難しい点や、他大学と協力した試験内容に関して紹介がありました。ロケットの仕様に関する質問や、燃焼方式に関して質問がありました。



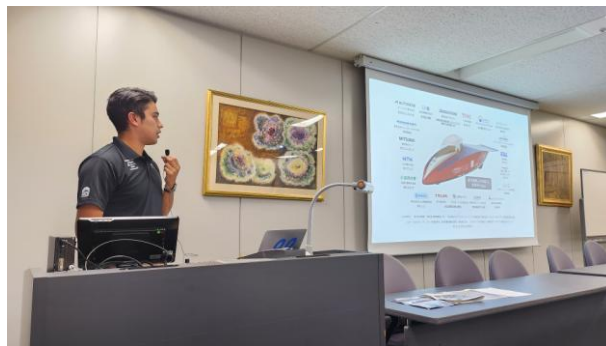
### KRP

NHK 学生ロボコンに出場しているプロジェクトです。事前選考を突破し、近年は 3 年連続で NHK 学生ロボコンへの出場を達成しています。2023 年の大会では、2017 年以来となる他大学に勝利を取ることができ、その様子の動画を上映しながら、他大学と工学院大学のロボットの違いや、2023 年大会の競技ルールに関して説明がありました。毎年競技が変更になり、ロボット製作や競技場製作の費用がかかることと、強豪チームは予算が潤沢であることの紹介がありました。一方で工学院大学新宿キャンパスの立地を活かして、他大学との交流・勉強会を自発的に開催している紹介もありました。



## 工学院大学ソーラーチーム

2023 Bridgestone World Solar Challenge が 10 月末に開催され、帰国から 1 週間ほどでの参加という多忙な中、さっそく大会結果の報告をしていただきました。大会では完走できて、今年も実績を挙げられたものの、驚きだったエピソードとして、車両を輸送する船便が遅延した上に大会会場とは遠いメルボルンに到着してしまい、出場すら危ぶまれたという話でした。そんな中でもリカバリを行い、豪州縦断を達成できたことを報告いただきました。車両に不調があり、海外校と協力しながら解決したエピソードもあり、質問でも不調の原因や大会の規定への関心が高いことがうかがえました。



## 工学院レーシングチーム

学生フォーミュラ大会では、チーム史上最高となる 4 位を獲得できた 2023 年大会での得点報告、特に順位の良かったタイムアタック競技であるオートクロスでの映像を上映いただきました。

そのほか、今年の成果につながったスポンサーや大学からの支援、来年の優勝に向けた新技術や開発状況の報告がありました。



全体的に機械系の技術面のみならず、それぞれの大会に向けた活動のマネジメントや、技術的な課題がどのようなものかに関心が集まり、質問がありました。

報告会の後はエステック情報ビルの Y's にて立食パーティーを実施し、学生間、学生と校友間の交流の輪を広げることができました。普段は学生プロジェクト間で交流をする機会はほぼ無いとのことで、技術面や運営面について意見交換する様子が見られ、有意義な時間を過ごしていただけたのではないかと思います。

